

ケープハイラックス～繁殖と経過報告～

矢向芳光
よこはま動物園

当園で飼育するケープハイラックス (*Procavia capensis*) は高齢化が進んでいる。一般的に高齢個体での出産は、死産・帝王切開の可能性・先天性疾患の可能性が高くなると言われている。しかし今後の安定した繁殖を考え、高齢になるNo.11 雌に出産を経験させることに取り組んだ。No.2 雄との初同居から交尾に至り、2022 年 8 月 20 日に 2 頭の雄を出産し、うち 1 頭は死産であった。

生まれたNo.25 雄の体重が伸び悩んでいたため、No.11 雌の授乳に加え介添え哺乳を行った。No.25 雄の体重が順調に増加し、運動能力が十分に発達したころに雌群れとの同居馴致を実施した。同居馴致は、下位個体 2 頭から始め、No.25 雄が馴れたころに全頭との同居を始めた。闘争もなく順調に馴致が進み、11 月 3 日から一般公開を開始した。No.25 雄は生後 175 日目で離乳した。

今後No.2 雄は高齢のため繁殖には供せず、次回以降の繁殖は今回出産したNo.25: 雄を後継雄として飼育管理していく。